



No. **24**

発行者 沼津市商工会
 会長 松永公良
 〈本所・原支所〉沼津市原1200番地の1
 TEL (055) 966-1331 FAX (055) 967-4925
 〈戸田支所〉沼津市戸田1028番地の5
 TEL (0558) 94-2224 FAX (0558) 94-4029
 編集 沼津市商工会広報委員会



1月26日 新春会員交流会での賑わい (2面に詳細)

「住民主体の町づくり」をめざして



NPO法人戸田とっこむ
 理事長 監物 知利子

当法人は地域振興が目的のNPOです。その活動は「松城邸」の文化財保存活用を始め、賑わいづくり事業、花の街推進の環境活動、IT化推進、HPでの情報発信とコミュニティ広報編集など枚挙に暇がありません。

そうした中で現在最も力を注いでいるのが、一昨年から営業開始した戸田の魅力情報発信拠点「みなとの駅ぶ茶店」の運営です。

「戸田の入口付近を賑やかに」という思いから観光客の休み処、地域ガイド、地場産

品の紹介・販売機能をもつ拠点を作る為、沼津市商工会戸田支所と協働し十一団体で組織する戸田地域魅力増進協議会を設立。毎週金土日月の四日間を運営しています。この二年弱の間にガイド派遣、地場産品の掘り起こしと新商品開発、ギャラリイ開設などを行ってきました。その成果の一つが今月、新発売の「日本が香る橘ジャム」です。戸田産の高貴な香りの橘をふんだんに使った無添加無香料のジャムです。沼津の特産品の一つに加えられるよう丁寧に手作りしました。

一連の活動で学んだ地域活性化とは「住民主体の町づくりが行われること。住む人が喜びを感じ、訪れる方と双方が気持ちよい時を過ごせること」とこの基本を実行し続ける事と痛感しています。

年間二百五十日余のボランティア活動を仲間と、訪れてくださるお客様に感謝します。商工会、観光協会などに応援してくれる地域の皆さんに感謝しつつ、出来ることをやっつけていこうと思います。

大盛況 新春会員交流会と講演会

昨年、多くの来賓を迎えて行われた「賀詞交歓会」を、本年は会員の交流を中心とした内容に変更し「新春会員交流会」として、一月二十六日本所会館で開催されました。

本年度の事業強化策の一つである「会員の交流と連携の推進」に沿って企画されたもので、厳しい経済情勢が続く中、会員同士の絆を深めるとともに、交流を通じて得るヒントやきっかけが新たな活路を開くことにもつながればと期待がかけられました。出席者は一〇〇名を大きく超え、会場の二階大会議室は久しぶりに人で溢れ、たいへんな盛り



中嶋先生の講演

上がりを見せました。鏡開きは地元白隠正宗の樽酒を使い、音頭は当商工会が総力を結集して開塾した後継者養成のための「坂本塾」の塾生が担当しました。

また、戸田支所が力を入れるB級グルメ「へだ港はんぺん」のコーナーも設けられ、出席者は熱々のはんぺんに舌鼓を打ちました。

また、当日は交流会の前に工業部会主催の「新春講演会」も開かれました。(財)静岡経済研究所の中嶋壽志常務理事を講師に「グローバル化と世界経済危機〜元氣出せ！中小企業〜」と題して、グローバル化の現状と仕組み、そしてその影響下での中小企業の生き残り策が語られました。深い見識をバックボーンにしながらもわかりやすく軽妙な講師の話に聴講者は熱心に聞き入りました。

今回の新春会員交流会と新春講演会は、昨春秋に配布した「沼津市商工会全会員名簿

」とともに、会員相互の一層の交流と連携を促すために開催されたのですが、今後さらにスケールアップし、会員同士の連携強化に取り組んでいきます。

講演会を企画して

今年度異業種交流事業の一環として「新春講演会」を開催したところ多数の会員の皆様にお集まり頂きました。会員の為の講演会として(財)静岡経済研究所の常務理事、中嶋壽志先生を講師に「グローバル化と世界経済危機〜元氣出せ！中小企業〜」と題して講演を頂きました。

我々企業を取り巻く環境はまだまだ厳しい現況ですが、今までと同じ事をやるだけではなく時代の変化に対応していかなければ生きていくのが難しい時代です。先生のお話の中から何かヒントを得ようと各企業の皆さん大変熱心に耳を傾けて頂きました。

これを機に多くの会員が情報を交換し合い発展するきっかけになって頂ければ幸いです。工業部会長 大村保二

弥生会計講習会

今年も決算確定申告の時期がやってきました。商工会では、会員企業の会計事務の合理化を支援するため、パソコンによる会計処理を指導しています。使用するソフトは弥生会計です。

初めてこのソフトを使用する方を対象とした講習会を年度の初めに開催し、次いで、今回の決算処理講習会と、年二回開催しています。その間、わからないところがあれば事務局職員がフォローしています。

弥生会計を初めて使用した多くの会員の皆様、会計処理が簡略化され、事務も大変に楽になったとの感想をよせています。

今回の、決算処理講習会では、情報化推進委員長の清水賢嗣氏を講師にお願いし、事務局職員も総力を挙げて取り組みました。

受講生の入力段階には個人差があり、一様にいきませんので、ほとんどが個人指導になります。苦勞して入力を終え、最後の決算処理までたどり着くと、受講生にも笑顔がもれます。スタッフ

一同、この講習会の成果を実感する時です。



ローンの御相談はさんしんへ
三島信用金庫 原町支店
〒410-0312 沼津市原195番地の6 TEL(055)966-1511

静岡銀行 原町支店
SHIZUOKA BANK
〒410-0312 沼津市原195番地の8
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309

あん しん for you みなさまの暮らしに、安心と信頼をお届けします。
安・信・豊・澁 JAなんすん 原支店
〒410-0312 沼津市原349-3
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722

沼津信用金庫 原支店
沼津市原町中3-13-23 TEL(055)967-6567
ホームページ・アドレス http://www.numashin.co.jp/

戸田支部だより

新しい人の動き創出

第二回 民宿講習会

一月十五日、戸田支所で「今後の観光の動きと民宿への提言」というテーマで(株)ツリーズム・マーケティング研究所の篠崎宏氏による講習会が開催されました。



真剣なまなざしの聴講者

観光は二十一世紀の成長産業といわれ、国、自治体ともに観光による地域活性化に力を入れていくのにも関わらず、残念ながら二十一世紀に入っただけで成長産業とは言い難く、数字の伸びは下降線をたどっています。果たして今までの取り

組みの延長線上に観光産業は存在するのだろうか？観光産業の構想を替えるために新たなイノベーションモデル構築の時期に差し掛かっていると思われまます。

北海道の奥尻島の事例にした観光マーケティングでは、なぜ満足度が高いのにリピートしないのか？という疑問に対し、観光では「満足」と「リピート」は似て非なるものであり、リピートの構成は「変化」と「動機づけ」、「本能」であるという話に共感しました。

旅行の原点となったお伊勢参りや参勤交代等々をみても、人の動きが社会を活性化し新たな付加価値を生みだしてきました。閉塞感が漂っている現代社会においても時代が観光に求めているものは「新しい人の動きの創出」であるという講師のお話は、いくつもの事例を表や図を使ってわかりやすく、とても参考になりました。今回のお話について、一つでも多くことを実践していきたいと思えます。

民宿 浜又

《新春交流研修会報告》

越前ガニを差別化して観光振興



黄色のタグのついた越前ガニ

二月七日八日、北陸の越前を訪ね、越前ガニ・高足ガニの交流研修を行い、十九名が参加しました。

最初に「越前がにミュージアム」を視察。次いで越前三国温泉の荒磯亭で会長と女将さんから、カニを活用した観光振興と旅館経営について話を伺いました。北陸、山陰地方の冬の味覚であるズワイガニ。三国温泉では、漁業関係者と連携して、十年ほど前から越前海岸（三国漁港）で獲れた生きた上質のズワイガニだけにタグを付け差別化、ブランド化を図りました。これ

により本物の越前ガニを目的に全国から三国温泉にお客さんが来るようになりました。荒磯亭（収容五十人）では漁期の十一月から三月の間、約二五〇〇匹のタグ付き越前ガニが提供されるそうです。宿泊予約は八割がインターネット。天候不順等で漁獲が無いときは、正直に無いことを伝えることで、客からの信頼を得ているそうです。

講習の後、日本海を眺めながら露天風呂でリラククスし、いよいよタグ付き越前ガニのフルコース。地元の素材を使った前菜に続き、初めにゆでガニ、次にカニの刺身、最後に焼きガニを堪能しました。目の前で調理、説明を受けながらの夕食の提供の仕方にも感心しました。

周辺の芦原温泉、山中、山代の大型旅館が経営難に直面している状況下、本物で勝負する小規模旅館にとっても勇気づけられました。戸田の高足ガニも越前ガニを学び、地域の関係者が一体となって、より美味しいカニを提供する仕組みを作りたいものです。

創業明治参年 味わいの宿



高足ガニとエビカニづくしの磯料理
TEL 0558-94-3333
フリーダイヤルTEL 0120-04-1260
ホームページ http://tokiwaya.info

企業の繁栄と社会貢献

沼津法人会 戸田支部
支部長 中島寿之

事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224

食中毒予防の決め手はあなたの手
沼津食品衛生協会 戸田支部
支部長 真野雄二



西伊豆/へだおんせん

海のほたる いさば

■タ日海産物語■

〒410-3402
沼津市戸田美浜海岸3878-20
TEL 0558-94-3048(代)
URL http://www.isaba.co.jp



輝く職人さん
浮島保育園
鈴木敦子様

確定申告のお知らせ お忘れなく

所得税→3月15日(月)まで
消費税→3月31日(水)まで

混み合いますので早めの申告をお勧めします。
商工会では会員の皆さまがスムーズに
申告を終えられるよう決算指導を行っております。
e-Taxなら色々な特典があります。
www.nta.go.jpをご覧ください。

浮島保育園は、五十数年の長きに渡り多くの卒園生を送り出して来ました。恵まれた自然環境を生かして、発達段階に応じた生活習慣・躰を培い「元気で仲良く頑張る子」を目指しているとの事でした。地域との交流を大切にしている、近くの老人ホームの訪問・校区祭・文化祭そしてよさこい祭りにも参加しています。農園では、ジャガ芋・サツマ芋の収穫祭と、JAの協力で田植え・稲刈りそして餅つきも行っています。又、体力作

読者の声が寄せられました
楽しみな「ウイング」

私は月一度回覧板で訪れる広報誌「ウイング」との出会いが楽しみである。どんな催しが表紙を飾るのだろうか、巻頭文はどなただろうか。いずれも身近な行事、知っている顔に出会えるので胸が躍る。政治家や役人さんばかりでないところはバランスがとれ、読者への配慮が感じられる。最近では商工会の行事以外、原、浮島そして戸田地域の催しの案内が取り上げられ、こ

れら地域の連帯感を醸し出している。それにより、この地域により親近感を覚える。また、紙面からは地域が元気を無くしてきていること、人心がまとまっていないことなどが感じ取れる。編集サイドはそれを敢えて押し隠すことなく読者に訴えている。その英断は大いに良しとしたい。ウイングは正にはばたきである。「地域」と「ウイング」に「ガンバレ!」である。

「ウイング」についてご意見を
お寄せ下さい。紙面作成の参
考にさせていただきます。

久保田 正彦

経営革新にチャレンジ
会員事業所さんから「経営革新承認申請」について相談があった。自社の現状、課題、経営革新計画づくりから申請まで行うこの制度は、ご承知のように経営目標を決めて、新しいことに取り組もうと頑張っている事業所が対象となる。経営革新企業として承認を受けると「保証・融資の優遇措置」や「設備投資減税」等の支援措置等が様々な意図されている。会員事業所の皆様にはこの制度を上手に活用してもらいたい。

「坂本塾」の西野教授のゼミで、日本には創業二百年以上の企業が三千数百社あり、その数字は世界で最も多いということを知った。「老舗」というと、「堅苦しい」「変化に乏しい」など保守的なイメージを連想しがちだが、何百年もの歳月を生き抜いてくることができたのは、条件に恵まれていたこともあったにせよ、その成長と持続の条件は時代の変化への適応力や競争力に備えた「二百年企業」の革新性があればこそだという話も印象に残った。T・M

『写真コンテスト』写真募集中!! テーマふるさとのにぎわい。詳細は沼津市商工会まで。

3月の行事予定

3月15日 確定申告提出期限
25日 第5回理事会 (TV会議)

2009~2010年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

沼津西ロータリークラブ テーマ
ロータリーで仲よく

沼津法人会 原支部
めざまし企業の繁栄
と社会への貢献